



2011.12.5

No. 215

MONTHLY

れんごう



http://www.rengo-hokkaido.gr.jp

毎月5日発行 定価1部10円 (組合員の購読料は組合費を含む)
1996年3月4日第三種郵便物許可

発行

日本労働組合総連合会 北海道連合会 発行責任者 出村良平
〒060-8616 札幌市中央区北4条西12丁目 ほくろビル6F TEL(011)210-0050 center@rengo-hokkaido.gr.jp

北海道ライフサポートセンター (HLS) 設立

すべての働く者の「拠り所」として生活支援を実施

北海道労働者福祉協議会は、「地域に根ざす」「生涯支援」「信頼と協働のネットワーク」「少ない負担で大きな還元」を基本コンセプトとした●しごと・生活に関するサポート●暮らし・家計に関するサポート●人生・生きがいに関するサポート事業を行う『北海道ライフサポートセンター』を10月26日、設立した。

今後、「助け合い」「支え合う」社会的基盤を再構築し、すべての働く者の「拠り所」として様々な生活支援を行うことにより、働きがいと生きがいのある地域社会の創造をめざしていく。

また、「しごと・生活」「暮らし・家計」「人生・生きがい」をサポートするため、暮らしなんでも相談室 (TEL0120-783-000) を、ほくろビル3階に開設した。

ホームページ <http://www.hlsc.jp/>

北海道ライフサポートセンター 2011年度役員

理事長	出村 良平	連合北海道事務局長・北海道労福協副理事長
副理事長	前川 和広	北海道生協連専務理事・北海道労福協理事
	大場 博之	北海道労働金庫常務理事・北海道労福協理事
	滝澤 弘	北海道労福協事務局長
専務理事	山本 廣和	北海道労福協事務局次長
理事	永田 重人	連合北海道組織労働局長
	佐々木 幸夫	北海道労働金庫営業推進部長
	兼古 道夫	全労済北海道本部事業推進第1部長
	田中 幸雄	北海道住宅生協専務理事
	伝法 政喜	北海道医療生協常務理事
	平野 博宣	石狩ブロック労福協・さっぽろサテライト
	櫻田 憲治	石狩ブロック労福協・さっぽろサテライト
	富山 隆	北海道高齢・退職者団体連合事務局長
監事	大谷 一路	北海道労働金庫・北海道労福協会計監査
	奥井 淳司	全労済北海道本部・北海道労福協会計監査

北海道ライフサポートセンター設立宣言

本日、北海道労働者福祉協議会と設立に賛同する連合北海道および労働福祉事業団体などの加盟団体（正会員）は、連携・協働するNPOなどの諸団体や専門家のみなさんとともに“協同の家”である『北海道ライフサポートセンター』を設立いたします。

労働者福祉の組織とその運動は、終戦直後の食糧危機と生活物資の不足が深刻化する社会状況のなか、組織の枠を超え、すべての働く者の立場に立って福祉の充実と生活向上をめざすという一点を結集軸に、中央およびこの北海道において発祥し、今日まで引き継がれてきました。

あれから時代は過ぎ、人生に例えると還暦を超えたいま、私たちは、あらためて安心と信頼の支え合う社

会基盤の再構築（助け合い＝社会連帯）をめざして再スタートを誓い合いたいと思います。

年金・医療・介護・福祉など、社会的共同事業としての社会保障制度は、今もなお、国民にとっては将来不安の最大要因となっており、社会人を育てるという伝統的な支え合う基盤をなしていた企業は、雇用のリストラ・非正規雇用の増大などによって安定雇用を大きく揺り動かしている存在となってしまいました。

さらに、福祉の最後の拠り所とされていた家庭においても、少子化・核家族化の進行なども相まってその役割を果たし切れない環境下に置かれていると言っても過言ではありません。

そして、何よりも大きいのは、人間社会の根幹をなす労働について、“まじめに働けば報われる”という、これまで当たり前とされていた価値観が、今日の厳しい雇用情勢などによって歪められていることです。

こうした問題意識は、決して私たちだけのものではありません。いま、全国・道内の各地域・職場などでは、「新しい公共」に対する様々な社会運動が展開されていることを見逃してはなりません。

また、来る2012年は、国連総会の宣言によって「国際協同組合理年」とされています。3月11日、“東日本大震災”という“国難”に遭遇した私たちは、新しい国づくりを始めなければなりません。

『北海道ライフサポートセンター』は、労働組合運動の原点ともいえる「弱者への思いやり」「助け合い」「社会正義」と労働者福祉運動のDNAである「福祉はひとつ」「すべての働く者の結集」を体現した、これからの「助け合い」「支え合う」という社会的機能

が、時代の要請となって私たちに求められていることを肌で実感しなければなりません。

『北海道ライフサポートセンター』は、以上のような社会的問題意識と自らの社会的存在意義を自覚しながら、連合北海道および労働福祉事業団体とがっちりスクラムを組み、さらには、協働する団体、専門家等のみなさんとの連携網（ネット化）と機能化（ワーク化）を着実に進めながら、社会や地域と、すべての働く人々の生活と人生への支援活動を展開していくことを宣言いたします。

三つの“きょうどう”（共同＝いっしょ・協同＝役割分担・協働＝多様性）が光り輝く労働者福祉の時代が必ず到来することを期して……

2011年10月26日

北海道ライフサポートセンター設立総会

国会議員要請を実施

労働者派遣法改正法案の早期成立を

労働者派遣法改正法案は、2010年の通常国会に提出されたものの2011年通常国会においても成立に至らず、継続審議扱いとなっている。秋の臨時国会での早期成立は、連合として最優先の課題である。

連合北海道も同法改正を派遣労働者の保護の第一歩と捉え、第23回年次大会に引き続き、今年の第24回大会でも特別決議を行ったところである。

労働者派遣法改正法案の早期成立を求め、各地協が道選出国会議員への要請行動を実施した。（写真は小平衆議院議員へ、和田空知地協会長が要請）

〈この記事のアドレス〉http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/report/2011110502_hakenhou-yousei.html



「渡島地域協議会推薦議員懇談会」を開催

政治活動の質的強化に向けて

連合の政策・制度の理解と協力、更には、日常的な政治活動の質的強化へ向けた「渡島地域協議会推薦議員懇談会」が、11月12日16時より函館パークホテルにおいて開催された。

今回は、連合傘下労組が抱える緊急課題と、連合の政策・制度課題に対する認識合わせを主目的に開催されたものであり、併せて12月定例議会へ向けた取り組みの強化を求めたものであった。

懇談会は、地元衆議院議員・道議会議員・函館市議

会議員等、連合推薦議員13名と連合渡島地協役員9名の計22名が参加し、それぞれの立場から積極的な意見交換が行われた。

課題の中心は、連合傘下労組が抱える課題として①函館市の財政中期的見通しに伴う独自減額（職員給与10%削減、退職手当10%減額等々）に対する取り組み、②学校敷地内における教職員の通勤自動車の駐車場使用有料化に対する取り組み、③連合のエネルギー・環境政策に対する理解と協力、等々とし、とりわけ①②の

課題については12月定例議会へ向けた対策としての問題認識の一致を求めたものでもある。

市職員の給与削減は、労使間ルールを無視した一方的な公表から始まり、今日までの労働組合の努力と協力を認めていないばかりか、結果いかに地域民間労働者や地域経済にも大きく影響を及ぼすことが懸念されることから、各級議員の支援と協力を強く求めるものであった。

また、教職員の駐車場有料化に対しても、校外巡視や様々な教育活動、部活動や少年団活動等々、生徒指導等の公務で使う頻度が高いことや公用車配備が皆無の状況等からも通勤用自動車の公務使用が現実であることが報告され、各級議員からも多くの意見と質問等が積み重ねられた。

更には、連合のエネルギー・環境政策の現状と考え方についても触れ、道議会議員からは民主党としての取り組みや北海道としての考え方も出され、全体として



今後の取り組みに相互連携を図ることを確認しあった。

会議終了後の懇親会においても、相互に抱える様々な課題に対する意見交換が積極的に行われ、連合と各級推薦議員とのパイプが、従前にも増してより太いものになったことが確認された。

〈この記事のアドレス〉 http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/report/201111202_oshima_giinkon.html

苦しい時だからこそ笑いが必要

『ザ・ニューズペーパー』招き「ウェルフェアスクール」開催

労働者自主福祉活動における人材育成を主目的とした「2011年度ウェルフェアスクール」が11月13日、函館国際ホテルにおいて開催された。

3・11東日本大震災、福島原発事故に加え、大雨による災害など暗いニュースの多い昨今の社会状況を捉え、今年度のテーマは「厳しい時代だからこそ笑いの中から自主福祉活動を!」とし、TVやマスコミでもおなじみの『ザ・ニューズペーパー』を招いての特別公演を企画。会場には組合員を中心におよそ150名が参加した。

労福協道南ブロック・荒木会長の挨拶でスタートしたスクールは、全労済からは「各ライフステージにおける必要保障額と商品」と題して、多発する自然災害に対する補償を中心に万が一に備えた対応の重要性を参加者に訴えた。

また、労働金庫からは、「多重債務問題と整理方法」をテーマに、今日的な現状や具体的な取り組みについて提起され、一人で悩むことなく積極的に相談すること

の重要性についての訴えが行われた。

メインとして登場した『ザ・ニューズペーパー』(2名)は、昨今の政治情勢を的確に捉え、事業仕分けとその後の対応、社会福祉に対する問題やTPP問題、政治の動向等々をコントの中で風刺し、会場は大きな笑いの渦に包まれていた。

とりわけ、今話題のTPPに関しては、単に農業問題だけではなく、自分達の日常生活や医療・薬、すべての産業に大きな影響が及ぶことをコントを通じて訴えていて、参加者も笑いと同時に頷きあう場面も数多く見られた。

予定された2時間は、またたく間に過ぎ、最後に道南ブロック労福協・佐藤副会長から閉会挨拶がなされ、労働者自主福祉活動の必要性と重要性を再度認識して一致させて今年度のウェルフェアスクールを閉会した。

〈この記事のアドレス〉 http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/report/201111301_oshima_welfare.html



日本のTPP（環太平洋経済連携協定）への 交渉参加表明に関する談話

日本労働組合総連合会北海道連合会 事務局長 出村 良平

野田総理は11月11日夜、12日から米国で開催されるAPEC（アジア太平洋経済協力会議）首脳会議でTPP（環太平洋経済連携協定）への交渉参加に向けて関係国と協議に入ることを表明した。

TPP参加判断については、民主党の経済連携プロジェクトチーム（PT）において論議され、11月9日の総会において交渉参加については「時期尚早・表明すべきでない」とする意見と「表明すべき」との両論があったが、前者の立場に立つ発言が多くなされた。

連合北海道はこれまでTPPに対する考え方として、情報を開示し国民論議を求めてきた。また、地域に暮らす生産者・勤労者の視点から経済・社会・雇用への影響や農業の役割について政府の統一的な考えを明確にしたうえで、参加判断については「拙速な対応はしない、慎重な判断をする」ことを求めてきた。

しかしながら、国民への情報提供はほとんど行われておらず、農業のみならず、医療・保険といった国民生活に密接に関わる課題についても国民の疑問に応える説明を尽しているとはいえない。また、国民的論議も深まっているとは言えず、各界各層からの意見聴取も十分ではなく、与党PT内論議においての参

加判断が二分する中での交渉参加表明は拙速のそしりを免れない。

連合北海道は今後、野田首相のTPPへの交渉参加表明に伴い、国民に対し各分野に亘る詳細な情報提供を行い、国民各層および地域の意見を聞いたうえで、何を守り、何を開放するのか明らかにするよう求めていく。各国との交渉においては、何よりも国民の利益を最大限追求し、外圧に屈することなく、粘り強い交渉を続け、毅然とした対応を求めていく。

特に北海道における農業・第一次産業は基幹産業であり、食品加工・運輸をはじめとして多くの労働者が従事しており、TPP参加による地域の経済や社会を支える基盤が大きく損なわれることが懸念される。自由貿易体制の下でも国民の食を支え、環境と共生する持続可能な社会を目指す国々は、農林漁業の安定的経営を農業政策の根本に据えている。

わが国においても長期的に国際競争に耐えうる農業農村政策を構築し、農林漁業の育成に全力で取り組むことを求めていく。

〈この記事のアドレス〉 http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/danwa/2011111201_tpp2.html



12月の主な動き

- 第1回就業応援セミナー
5日（月）17:00／札幌エルプラザ
- 第2回エネルギー・環境政策小委員会
6日（火）13:30／連合北海道会議室
- 男女平等参画推進委員会
8日（木）13:30／KKR札幌
- ボランティアサポートセンター第4回講座
8日（木）18:00／自治労会館
- 労使問題研究会
9日（金）15:30／センチュリーロイヤルホテル
- 非正規労働センター地方連合会担当者会議
13日（火）13:30／総評会館
- 中小・パート労働条件委員会
14日（水）13:30／連合北海道会議室
- 食・みどり・水を守る道民の会総会
15日（水）13:30／ポールスター札幌
- 第3回中央執行委員会
15日（水）13:30／総評会館
- エネルギー・環境政策委員会
16日（木）13:30／さっぽろ芸文館
- 第1回地方連合事務局長会議
20日（火）13:30／総評会館
- 常駐者会議
21日（水）10:00／連合北海道会議室
- 非正規労働対策委員会総会
21日（水）13:30／かでの2・7

イベントカレンダー

- 第1回地協会長・事務局長会議
21日（水）16:00／ガーデンパレス
- 第3回執行委員会
22日（木）10:30／ガーデンパレス
- 第49回地方委員会
22日（木）13:30／ガーデンパレス
- 御用納め 28日（水）
- 年末・年始休業 12/29（木）～1/3（月）

2012年新年交礼会

と き：2012年1月5日（木）17時より
と ころ：ホテルポールスター札幌

各地協総会日程（12月分）

- 檜山地協
12月3日（土）10:00 江差町地域振興会館
- 後志地協
12月3日（土）13:00 倶知安労働福祉会館
- 宗谷地協
12月3日（土）13:30 労働会館
- 石狩地協
12月7日（木）13:00 さっぽろ芸文館
- 上川地協
12月17日（土）10:00 トーヨーホテル

ゆに・ぽん

冬休み版

好評
配布中!

毎回大好評の組合員
特別優待クーポン誌

スキー場など道内のアミューズメント、またホテルなどが特別価格で利用できます。これからのシーズンにぜひお役立てください。

